

内閣総理大臣表彰

厚生労働省推薦

ケージーエス株式会社

(埼玉県比企郡)

ディスプレイに凹凸を浮き立たせて点字を表示する点字セルの応用から、地図や絵を表現できる点図セル及び点図ディスプレイの開発、視覚障害者向け情報機器の拡充・モバイル化など利用者の立場に立った開発に積極的に取り組んでいる。

ディスプレイに凹凸を浮き立たせて点字を表示する点字セルの応用から、地図や絵を表現できる点図セル及び点図ディスプレイを開発し、視覚障害者向け情報機器の拡充・モバイル化を推進することで、視覚障害者の日常生活の質の向上や社会参加の一助を担っている。国内では、点字セルを開発する唯一のメーカーであり、世界でも70%のシェアを誇る。さらに、点図セルにおいては、世界唯一のメーカーである。

また、利用者の利便性を考慮し、研修会及

び福祉機器展等を通じて、利用者のニーズを直接聞く機会を設けている。実際に、携帯可能な大きさの点字ディスプレイを求める声を製品開発に取り入れ、小型点字ディスプレイ「ブレイルメモポケット」が開発されたことは関係各所から高い評価を受けた。

触読の文化を大切にしつつ、高い技術力と利用者第一主義を常に、コミュニケーション機器の革新的な開発に努めている企業である。



点字セル



ブレイルメモポケット



内閣府特命担当大臣表彰 優良賞



経済産業省推薦

オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社

(東京都港区)

鉄道の駅で使用される自動券売機や自動改札機について、障害者や高齢者等の様々な利用者の誰にでも使いやすいユニバーサルデザインに積極的に取り組み、自社製品開発にとどまらず、業界の自動券売機バリアフリー設計指針の作成などにも取り組んでいる。

駅で使用される切符の自動券売機及び自動改札機についてのユニバーサル性が進む中、同社はこれらの開発・製品化に積極的に取り組んでいる。また、自社でのUD製品の開発にとどまらず、関東地区の主要電鉄会社間の共通仕様の券売機の開発や、業界の自動券売機バリアフリー設計指針の作成等、ユニバーサルな社会の実現に大きく貢献している。

同社は1999年から本格的なUD自動券売機の開発に着手し、2002年、ISO13407の人間中心

設計プロセスに沿って開発したUD自動券売機を発売した(機種:V7)。以降もUDへの取り組みが継続されており、2010年に発売された新型自動券売機(機種:V8)においては、V7では実現できなかった課題に関する先導研究の成果や、現場でのユーザビリティ評価等で得られた知見が盛り込まれている。

現在、V7、関東共通化券売機及びV8は、全国で約50社の電鉄会社に導入され、約7,000台が設置されている。



硬貨投入口



ディスプレイ

内閣府特命担当大臣表彰 優良賞

山梨県推薦

株式会社 富士レークホテル

(山梨県南都留郡)

「人にやさしいホテル」を志向し、車イスの人なども使いやすい工夫を凝らした客室の増設、バリアフリー・ユニバーサル対応専用貸切風呂の開設などハード面に加え、ソフト面でもユニバーサル備品無料貸出の拡充と共に、食のユニバーサルにも取り組む「ユニバーサルホテル」の実現に尽力。

同ホテルが初めてバリアフリー・ユニバーサルデザイン（以下BF・UD）ルームを設けたのは、交通バリアフリー法施行前の平成11年であった。

マーケティング分析から「高齢化する社会情勢」を睨みつつ、尚且つ社会的企業として「障害をお持ちの方も分け隔てなく受入れさせて頂くことが、ホテル業に従事する者に課せられた責務である」という理念に基づき、7種類・23室のBF・UDルームと3種類のBF・UD貸切風呂を整備した。

10年以上に渡って取組んできた結果、国内宿

泊施設との比較では類をみない圧倒的なBF・UD対応温泉宿泊施設が実現した。

現在においても、ハード面のBF・UD化だけでなく、ソフト面においても対応を強化させる為、お客様アンケートやお客様からのヒアリングを日々行い、スパイラルアップによる改善活動を繰り返している。

特に「UD備品」の設置と「食のUD化」については個々のお客様のニーズにきめ細かく対応すべく予約段階からきめ細かい対応をしている。



UDルームの客室風呂(河口湖温泉引き湯)



食事のユニバーサル対応(きざみ食、ミキサー食など)